

戸籍の窓

人口と世帯 (平成 28 年 5 月 1 日現在 () は前月比)

総人口: 11,092 人 (-24) 男 5,348 人 (-5) 女 5,744 人 (-19) 世帯数: 3,491 世帯 (+3)
 [内、外国人: 56 人 (±0) 男 10 人 (±0) 女 46 人 (±0) 外国人世帯数: 19 (±0) 世帯]

お誕生おめでとう



受付 平成 28 年 4 月 1 日 ~ 4 月 30 日

坂川 立樹 くん



父: 洋平さん 母: 友梨子さん

飯田 望桜莉 ちゃん



父: 匠さん 母: 佳那恵さん

城野 道春 くん



父: 剛さん 母: 紀子さん

和田 蒼史 くん



父: 憲保さん 母: 瑠美さん

赤澤 春樹 くん



父: 孝明さん 母: 香芳里さん

川上 蓮 くん



父: 明洋さん 母: 愛さん

おくやみ申し上げます

鮎波 嶋	中小屋 林	荒目 堤野	大良 中野	鋳物師 榎尾	旭(湯尾) 莉安	旭(湯尾) 栄
米野 一雄さん	澤崎智枝子さん	学さん	寿あさん	一さん	富義さん	斎藤八重子さん
86 歳	82 歳	87 歳	82 歳	92 歳	83 歳	89 歳
95 歳	96 歳					

流動創生

公式ホームページを公開しました。

<http://ryudou-sousei.jp/>

流動創生

検索

いま、日本全国の人口が減り続け、大都市圏への人口集中が進んでいます。

流動創生はその現実を直視し、都市から地方へ、地方から地方への、移住でも観光でもない「人の流れ」を全国につくることを理念として行うものです。

また、人が地域に関心を持ち、訪問する機会となるには、その地域に知っている人がいるか、その地域ならではの環境や特色に惹かれたからといった要素が大きいと考えます。流動創生事業では、南越前町を含め各地で地域外の人と地域をつなげるとともに、古来より人の往来を支えた南越前町だからこその“人の出入りに柔軟な風通しの良い町”として広く認知されるために行っています。

4 月 29 日 ~ 5 月 1 日の町内滞在企画「ストップオーバー※」では、都市部などから 5 名の参加者を迎え、古木地区で田植え作業のお手伝いをしながら、町外参加者と古木地区の方々が交流。町外参加者からは「流動創生というユニークな取り組みに興味を持って参加した。面白い人ばかりだったし、地元の方々と交流できて、刺激があった。本当に来て良かった。」などの声がありました。

次号では「ラウンドトリップ」南越前町出発後の活動についてお伝えいたします。

■問合せ 観光まちづくり課 ☎ 47-8013



ストップオーバーとは 地方に関心を持つ都市部在住の方々が、南越前町流動創生事業の拠点に滞在し、周辺地域の住民等と一緒に地域の生業に汗を流し、都市部在住の方々と地域住民との交流・賑わい・縁づくりを生み出す取り組みです。

南えちぜん

発行 南越前町 〒919-0292 福井県南条郡南越前町東大道 29-1 ☎ (代) 47-3000
 編集 南越前町観光まちづくり課 ☎ 47-8013 FAX 47-3261
 138号発行 平成28年5月25日 次号は6月24日発行 <http://www.town.minamiechizen.lg.jp/>

流動創生

昨年9月に実施した流動創生事業のラウンドトリップ（地方巡業企画）の第二回目、「ラウンドトリップ2016春」を4月30日～5月13日の14日間にわたり実施しました。今回は中国地方・九州・四国を周り、全走行距離は約2,000キロに及びました。

搭乗者には昨年のラウンドトリップに参加されていたり、以前にもストップオーバー（滞在企画）で南越前町を訪れたりしたことのあるリーダーの参加者も多く見られました。

滞在した各地域からは、「本当に素晴らしい企画だと思います。地域側の満足度が驚くほど高かったです」といった声や、「全国的に先進的な試みだと思います。こうした試みが実現できる町ということで、南越前町に好印象を抱きました」などの声を頂きました。

また、本企画に関連して福井県内外のテレビ局2社や新聞社3社より取材して頂き、県内外に広く南越前町の取り組みについてPRを行うことができました。

今回、ごく一部となりますが訪問各地での活動内容を紹介します。

行程・訪問先と事業内容

1 4/30～5/1
南越前町



各地より参加者が集まり古木地区で田植え。作業後、地域の方よりバーベキューにお誘い頂き、美味しく頂きました。いざ南越前町から全国へ出発！

2 5/1～3
岡山県瀬戸内市



地域の方々が移住促進に力を入れており、空き家を移住者の短期滞在住宅にするなどしています。訪問時は最近移住されてきた方の改装中のお宅で片づけ作業等を行いました。

3 5/4～6
長崎県長崎市



移住者が空き店舗をカフェや本屋などの店舗に改装するお手伝いを行いました。また、地域の方々とのパーティーに持参した「へしこ」は大好評でした。

4 5/6～7
大分県杵築市・熊本県阿蘇郡



杵築市の滞在受入者の方の知り合いで熊本地震で被災された方がおり、熊本で瓦礫の撤去作業などを行いました。被災された方は「本当に助かりました」と話されました。

5 5/7～9
大分県日出町・別府市



滞在先の農園のお手伝い作業等を行いました。また、各訪問先よりお預かりした募金を熊本地震で被災された方へ届けるため、別府市役所を訪問し、別府市長にお渡ししました。

6 5/9～11
愛媛県伊予市



空き家をお試し居住住宅へ改装するためのお手伝いを行いました。また、地域の小学校も見学。親御さんは「子供の数が少ないゆえに安心して預けられる」とも話されました。

8 5/13
南越前町



南越前町に到着。各滞在先から感謝されることが多く、参加者も達成感を感じる旅となりました。また、新聞やテレビ、SNSでも取り上げられ、流動創生事業の認知度についても手応えを感じるものとなりました。

7 5/11～13
徳島県徳島市



昔ながらのトタンの長屋にカフェや図書館などが入る施設で、草むしりや日除けのテント張りをしました。施設の方は「次はこちらが南越前町に行きます」と話されました。



さらに活動の様子について詳しく知りたい方は、流動創生 Facebook ページをご覧ください。

<https://www.facebook.com/rydousousei/>

<http://ryudou-sousei.jp/> 流動創生 検索

問合せ 観光まちづくり課 ☎ 47-8013

ラウンドトリップとは

南越前町が行う流動創生事業のPR および、流動創生の考え方に賛同する人や地方に興味を持つ全国からの参加者がワゴン車に乗り込み各地を巡回し、地域の方々と共同作業するなどして、参加者それぞれに適した地域と、その関わり方を探るものです。

流動創生

流動創生事業補助金のご案内

流動創生事業補助金は、人口減少および都市部への人口集中といった課題をふまえて、町外からの人の流れをつくるために、地域の団体や事業者、移住者^{注1)}や移住検討者^{注2)}を町がバックアップするものです。

注1)…移住者とは、町内に転入した者で、転入した日から6年を経過しない18歳以上の者

注2)…移住検討者とは、現に町内に住所を有していない者で、町への定住等を検討している18歳以上の者、または町長が特に認める団体

◆地域活動支援補助金

〈補助内容〉

地域団体等および事業者が行う町内の催しや集落での行事等に移住検討者を活用する場合、移住検討者にかかる活動報酬に対して補助金を交付します。

〈補助率(補助限度額)〉

活動報酬のうち補助基準単価(1人あたり780円/時間)で算出した金額の5/6以内(30,000円/月)

◆空き家改修支援補助金

〈補助内容〉

移住検討者または移住者が町内の空き家を購入または賃貸借契約を結び、居住または地域交流の活動拠点等とする場合、空き家の改修費に対して補助金を交付します。

〈補助率(補助限度額)〉

空き家改修費の1/2以内(1戸当たり100万円)

◆雇用支援補助金

〈補助内容〉

事業者が町内で移住者を雇用する場合、移住者に支払う賃金に対して補助金を交付します。

〈補助率(補助限度額)〉

賃金のうち補助基準単価(1人あたり780円/時間)で算出した金額の1/2以内(雇用期間1年未満に限る)

◆起業支援補助金

〈補助内容〉

移住検討者または移住者が町内の特産品や空き家といった地域資源を活かして起業する場合、起業に要する費用に対して補助金を交付します。

〈補助率(補助限度額)〉

起業に要する費用の2/3以内(150万円)

全国巡業企画「ラウンドトリップ2016秋」搭乗者募集中！

南越前町では、地方創生の取り組みとして、都市と地方の双方に人の流れをつくらうとする「流動創生事業」を推進しています。本事業の一つとして、地域の活性化等に取り組んでいる全国各地の活動者を訪問し、地域活動のお手伝いをしながら各地を巡る企画「ラウンドトリップ」を実施しています。これまで参加した人からは「体を動かして、地域の人と交流を持てて良かったです」「地域の取り組みをまとめて見せてもらえた感じで良かったです」といった声を頂いてきました。

そして今年9月、秋のシルバーウィーク期間を挟んで第3回目を開催させて頂くこととなりました。これにあたり、一緒にワゴンに乗って各地を旅する参加者を募集します。

実施予定期間 9月19日(祝)～9月30日(金) ※途中乗車・下車可能です。

訪問予定地域 東北、関東、中部など東日本各地(調整中)

参加費 無料

参加者募集締切 8月9日(火)

応募について 詳細・お申し込みは、町ホームページまたは下記のURLをご覧ください。観光まちづくり課までお問い合わせください。

ラウンドトリップ搭乗お申し込み・詳細ページ <http://ryudou-sousei.jp/event/009/>

流動創生

検索

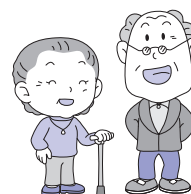
問合せ 観光まちづくり課 ☎ 47-8013





地域包括支援センターです

■ 問合せ 地域包括支援センター ☎ 47-8009
 地域包括サブセンター(今庄) ☎ 45-1170
 地域包括サブセンター(河野) ☎ 48-2260



防ごう！「高齢者虐待」～虐待の種類について⑤～

「セルフネグレクト」とは自分の意思で、食事や、衛生管理を行わず、身なりなどにも無頓着になり、いわゆる「ゴミ屋敷状態」になっていても周囲に援助を求めようとしない状態のことを指します。高齢者虐待ではありませんが、防止や解消に向けて高齢者虐待と同じように支援が必要な状態です。最近では、高齢者のセルフネグレクトが増え、孤独死に繋がるケースもあります。原因として、うつ病や認知症などが考えられ、一人暮らしなどの場合に多く見られます。そのため自分だけでは生活していけない状況なのに、誰にも助けを求めなかったり、支援を拒むようになります。

このような「セルフネグレクト」にある状態の方は地域からも孤立しがちです。ご近所同士で声をかけあい、見守りをしながら高齢者の孤立を防ぎましょう。また、地域で心配な方がいる場合は地域包括支援センターまでご相談ください。

その5「自己放任(セルフネグレクト)」となる行為

- 例えば…
- ★ 食べる意欲も失せ、必要な食事を取らない。
 - ★ 不衛生な環境で生活する。
 - ★ 医療や福祉のサービスを拒否する。
 - ★ 金銭の管理をしっかり行わなくなる。
 - ★ 家族や友人との交流をしなくなる など



流動創生

7月23日(土)～8月19日(金)の期間で町内滞在企画「ストップオーバー 流動創生夏合宿」を開催しました。本企画は主に町外に住む方を対象に、期間内でいつでも都合の良いときに町に滞在して頂き、町内の方と交流したり地域の仕事をするなど、南越前町を流動の拠点、生活の拠点の一つとして捉えて頂くためのものです。

今回は約20名(延べ50名以上)の方が参加され、初めて南越前町に来町された方のほか、昨年流動創生事業のイベントで来町され、その後も度々訪れているリピーターの来町者の方も多く参加されました。南越前町が、東京や大阪などの都市に住みながらも、地域に関わりたい方や、旅をすることが好きな方などにとって重要な活動拠点になりつつあることを感じられました。

夏合宿前半は、参加者は農作業や、ハスの収穫作業など地域の仕事で汗を流すとともに、はすまつりやきとっけ今庄宿の市、河野夏まつりなどに足を運びました。

農作業をされた参加者の方は「1週間楽しかったです！また来ます！」などと話し、参加者を受け入れた南条蓮生産組合 井上典宣組合長は「人が来てくれて助かった。来年も来てほしい。」と話されました。

次回10月号では引き続き、夏合宿後半の様子が滞在者の声をお伝えいたします。

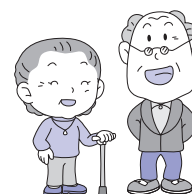


■ 問合せ 観光まちづくり課 ☎ 47-8013 流動創生 検索



地域包括支援センターです

■ 問合せ 地域包括支援センター ☎ 47-8009
 地域包括サブセンター(今庄) ☎ 45-1170
 地域包括サブセンター(河野) ☎ 48-2260



防ごう！「高齢者虐待」～虐待の背景を知ろう①～

厚労省が行った調査では、虐待を受けた高齢者の割合は、女性が約 77%、要介護状態の方が 67.1%、認知症の方が 69.9% という結果になっています。また、虐待の発生要因として第 1 位が「虐待者(家族等)の介護疲れや介護ストレス」という結果になっています。このことから、認知症高齢者への介護ストレスや介護疲れが高齢者虐待の発生と関係が深いことが分ります。

認知症介護は精神的なストレスが溜まりやすく、また認知症があっても身体は元気なため、周囲に介護負担が伝わりにくいという特徴があります。認知症の方を介護されている方は、上手に介護サービスを利用したり、電話相談や「介護者のつどい」で介護の苦勞を話し合うなど、ストレスを溜めすぎないようにしましょう。地域包括支援センターでも「介護者のつどい」を開催していますので、是非ご参加ください。

第 2 回「認知症介護者のつどい」

日 時 10月1日(土) 午後2時～午後4時頃まで
 場 所 デイサービス神久ファミリー
 定 員 20 名
 内 容 ①薬剤師からのお話「認知症とお薬について」
 ②座談会



参加費 500 円
 申込先 地域包括支援センター
 締 切 9月28日(水)

流動創生

先月号では7月23日(土)～8月19日(金)で開催した町内滞在企画「ストップオーバー 流動創生夏合宿」にて、滞在者の方々が農作業やハス収穫作業など人手が必要な地域の仕事をお手伝いされた模様をお伝えしましたが、滞在者の方々は地域仕事のお手伝いのほか、盆踊りなど地域行事にも積極的に参加し、地域の皆さんと交流されました。

「上野の盆踊り」に参加した滞在者の小野和哉さんは「全国各地の盆踊りに参加しているが、唄だけの進行や会場の熱気など、最高すぎる盆踊りでした。」などと絶賛し、その感想をインターネットで情報発信されていました。

上野盆踊り保存会の山崎会長も「上野の盆踊りを町外へも広く伝えていきたいと思っていた。町外から足を運ばれた方々に参加してくれてありがとうございますと伝えたい。」と話されました。

その他の滞在者の方々も町内滞在中に撮影した写真や感想をインターネットなどで情報発信され、その写真や感想をインターネットで見た方の「楽しそう！」「行きたくなりました！」などのコメントも多く見られたほか、その感想を見て実際に来町される方もいらっしゃいました。

滞在された方が町民と交流したり地域の仕事を行う機会としてだけでなく、滞在された方が町外の方へ南越前町の魅力を広く伝える機会にもなりました。



■ 問合せ 観光まちづくり課 ☎ 47-8013

流動創生

検索

流動創生

人と文化の交流の要所であった南越前町に東京や京都など各地から人が集まり、町内ほか各地を巡る流動創生事業企画「ラウンドトリップ」の第三回目「ラウンドトリップ2016秋」を9月17日～9月30日の14日間にわたり実施しました。本企画ではラウンドトリップに来てほしい地域を募集し、申込みいただいた地域に訪問しています。今回は山形や千葉など東日本を周り、全走行距離2,000キロ以上に及びました。

搭乗者については東京や京都、大阪など町外の方のほか、今回は町内の方のご応募も頂きました。また、搭乗者の中には滞在地域との縁を活かして、すでに滞在地域で活動を始められた方もおり、ラウンドトリップの目的のひとつでもある居住地域以外で活動するための縁づくりも進めることができました。

さらに、本企画に関連して福井県内外の新聞4社より取材して頂き、県域を超えて広く町の取り組みについてPRを行うことができました。

今号では訪問各地での活動内容をごく一部となりますが紹介します。

行程・訪問先と事業内容

1 9/17～19
南越前町



「街道浪漫 今庄宿」にて各地から集まった搭乗者の方々とともに1日限定店舗を出店！出店会場として今後の利活用が検討されている齋藤三郎家を使うことで齋藤家利活用に向けたPRにもつながりました。

2 9/19～21
富山県氷見市



移住者の方が空き家を学生が集まる施設や音楽スタジオとして改修しており、家の床剥がしや床張りなどの改修作業をお手伝いしました。

3 9/21～23
山形県朝日町

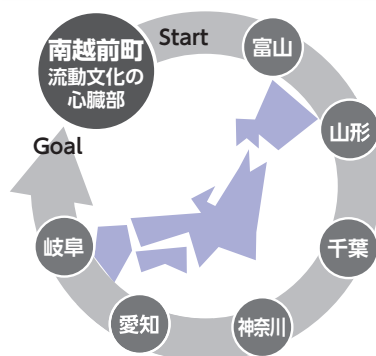


元地域おこし協力隊が行う着ぐるみを使った地域振興「桃色ウサビ」。そのウサビに役場前でお迎え頂き、朝日町役場をご案内頂いたほか、開設予定の宿泊施設の竹藪整備を行いました。

8 9/30
南越前町



2,000キロを走破し南越前町に到着。各滞在先から感謝されることが多く、搭乗者も達成感を感じる旅となりました。また、搭乗者や滞在地の方々が本企画についてインターネットで多くの情報発信をされ、南越前町や流動創生事業の広いPRにつながりました。



4 9/23～25
千葉県我孫子市



今年で19年目を迎える「我孫子国際野外美術展」の展示会場整備を国内外、市内外のアーティストの方やボランティアの方などと一緒にを行いました。

7 9/27～30
岐阜県白川村



白川村地域おこし協力隊の方が自身の事業として空き家を移住体験施設として改装中。観光でいらしていた外国の方などと一緒に改装作業をお手伝いしました。

6 9/26～27
愛知県名古屋



名古屋での滞在拠点は、住宅街の一軒家をイベントなどを開催できるコミュニティスペースとして家を開いており、滞在中は家壁のペンキ塗りを行いました。

5 9/25～26
神奈川県鎌倉市



鎌倉の古民家を使ったコミュニティスペースに滞在。庭師の方と一緒に作庭作業をしたり、古民家の掃除を行いました。また、南越前町から持っていった「へしこ」を食べて頂きました。

さらに活動の様子について詳しく知りたい方は、流動創生 Facebook ページをご覧ください。

<https://www.facebook.com/ryudousousei/>

流動創生 検索

問合せ 観光まちづくり課 ☎ 47-8013

ラウンドトリップとは

南越前町が行う流動創生事業のPR および、流動創生の考え方に賛同する人や地方に興味を持つ全国からの参加者がワゴン車に乗り込み各地を巡回し、地域の方々と共同作業するなどして、参加者それぞれに適した地域と、その関わり方を探るものです。

流動創生

南越前町に東京や京都など都市部から人が集まり、南越前町ほか各地を巡る流動創生事業企画「ラウンドトリップ2016秋」にて、滞在受け入れを行って頂いた他県の方々からラウンドトリップを受け入れた理由や感想をお聞きしました。ごく一部となりますがご紹介します。

Q ラウンドトリップを受け入れようと思ったのはなぜですか？

A 単独の地域で若い人を集めることは難しいことを理解しており、一緒に作業して頂ける人を分かち合うことは非常に合理的な考え方だと思いました。また、本取り組みが自治体の施策としては先進的かつ独創的であり、非常に興味があったからです。(岐阜県白川村)



A 以前から良い取り組みだなと思っており、皆さんが来ることで地域の人たちとの交流の場にもなるからです(富山県氷見市)

A 移住促進の活動をしているので移住者を増やしたいのですが、紹介できる空き家も少なく、今すぐ移住しに来てくださいと言えるような状況でもない部分があります。そうなる必要なのは、地域と繋がりをもってくれるような人で、そういう人との交流を作っていきたいと思っていました。そういったことをするのにラウンドトリップがぴったりだったので、受け入れ先として申し込みました。(岐阜県白川村)

Q 実際にラウンドトリップを受け入れていかがでしたか？

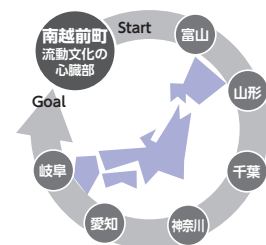
A 南越前町のことをあまり知りませんでしたが、興味を持つきっかけになりました。外に出ることで、町との縁を広げる活動になるのだと考えさせられました。地域おこしのあり方も「地域の中だけ」という通り一遍ではない。そんな着眼点を持って実行していて素晴らしいと思います。(山形県朝日町)



A 様々な職業・居住地の方々とお話でき、とても有意義な時間を過ごすことができました。また、ラウンドトリップでいらした方がその後も地域でイベントを企画されるなど盛り上がりがあって、とても嬉しく思います。素敵な縁がありがとうございました。(千葉県我孫子市)



A この企画は日本の地域活性化に確実に貢献していると思います。陰ながら応援しております。是非また来年も来て頂きたいと思います。(神奈川県鎌倉市)



A 人が繋がることで物事が生まれるのは他の事例や今までの経験からみて明らかで、その確率を上げるために人の繋がりを生むことは必要だと思います。この企画は、私がいる地域ではなかなか出てこない発想だと思っており、個人的に注目しています。是非、継続をお願いします。(岐阜県白川村)



A 私自身ひとつの所に留まらない生き方や働き方をしたいかと思っており、力が湧きました。みなさんにお会いできて良かったですし、南越前町へ行ってみたいです。ラウンドトリップは面白い企画。なかなかできることではないと思うので、続いていくといいなと思います。(愛知県名古屋市中区)

A 個性豊かな人が集まるラウンドトリップはとても魅力的な企画なので、今後も継続していくことを期待しています。南越前町にもまた行きたいと思っています。(岐阜県白川村)

ラウンドトリップとは

南越前町が行う流動創生事業のPRおよび、流動創生の考え方に賛同する人や地方に興味を持つ全国からの参加者がワゴン車に乗り込み各地を巡回し、地域の方々と共同作業するなどして、参加者それぞれに適した地域と、その関わり方を探るものです。

活動の様子について詳しく知りたい方は、流動創生 Facebook ページをご覧ください。
<https://www.facebook.com/ryudouousei/>

流動創生

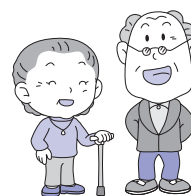
検索

問合せ 観光まちづくり課 ☎ 47-18013



地域包括支援センターです

■ 問合せ 地域包括支援センター ☎ 47-8009
 地域包括サブセンター(今庄) ☎ 45-1170
 地域包括サブセンター(河野) ☎ 48-2260



防ごう！「高齢者虐待」～地域での見守り体制について～

高齢者虐待は家庭内で発生することが多いため、周囲から気づかれにくい傾向があります。また、虐待を受けている高齢者のなかには、「家族に迷惑をかけている」という負い目や認知症などで自分からSOSを出せない高齢者もいます。虐待をしている家族にその自覚がないことも少なくありません。そのため、高齢者虐待は早い時期に周囲が気づき、周囲からの声かけや必要に応じて第三者が介入することで、虐待の悪循環を防ぐことが出来ます。

高齢者や介護している人たちが孤立しないように、地域のなかで「あれ？」「もしかして…」と思う高齢者や家族がいる場合は地域包括支援センターまでご連絡ください。相談者の秘密は厳守され、訪問等にて高齢者の状況把握や家族支援を行います。

こんなサインに気づいたらご相談を！

- ☐ 今まで挨拶していたのに、急にしなくなった
- ☐ 地域の集まりや行事に参加しなくなった
- ☐ 髪の毛や服装が乱れるようになった
- ☐ 身体に小さな傷やアザがあり、理由を聞いても話したがらない
- ☐ 顔色が悪く、具合が悪そうなのに受診している素振りがない
- ☐ 家族が、高齢者に対して過度に乱暴な口のきき方をする
- ☐ 家から高齢者や家族の怒鳴り声や悲鳴が聞こえる
- ☐ 訪問しても、高齢者に会えなかったり、会うのを嫌がられる



流動創生

町内滞在企画「ストップオーバー 秋の素材で小商い」を11月8日～30日の期間で開催しました。

都市部に住む方々が町内に数日滞在し、つるし柿づくりや今庄宿で行われた酒蔵ふえすのお手伝い、畑作業、お惣菜作り、野菜の移動販売などを行いました。

滞在者には今回初めて来町された方が3名、すでに何度も町を訪れて地域活動のお手伝いをされてきた方も2名いました。

町外滞在企画ラウンドトリップで初めて南越前町を訪れ、その後も継続的に南越前町に滞在し地域活動のお手伝いをされている京都在住者の方は「流動創生事業を知ってから南越前町を訪れるようになった。顔なじみのものできて楽しい。今後も定期的に訪問したい。」と話されました。

他の滞在者の方々も「次に来るときは畑作業を教えてくださいました方の家に泊まることになった。」「酒蔵のお手伝いをさせてもらうことになった。」などと話され、今後の滞在につながる機会となったようです。

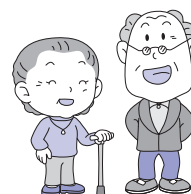


■ 問合せ 観光まちづくり課 ☎ 47-8013 流動創生 検索



地域包括支援センターです

■ 問合せ 地域包括支援センター ☎ 47-8009
 地域包括サブセンター(今庄) ☎ 45-1170
 地域包括サブセンター(河野) ☎ 48-2260



～皆が安心して暮らせるまちづくりのために～

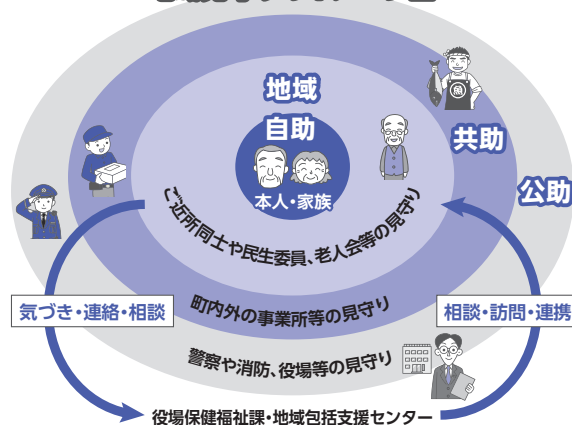
昨年、12月22日に「南越前町高齢者地域見守りネットワーク事業」の協定書調印式が行われました。これは、町内外の協力事業者が日頃の業務の中で体調を崩した高齢者や、気がかりな高齢者を見つけた時に、消防や役場に連絡したり、日頃から見守りを強化することで、孤独死や状態悪化になることを未然に防ぐための取り組みです。これまでは町内の郵便局と新聞配達店が協力事業者として参画していただいておりますが、今回新たに9事業所が加わり、地域での見守り体制の構築がより一層期待できます。町では、今後も協力して頂ける事業所を随時募集しています。

今回新たに協定を結んだ事業所は下記のとおりです

- ・南越前町商工会
- ・南条郡森林組合
- ・河野村漁業協同組合
- ・越前たけふ農業協同組合
- ・福井県民生活協同組合
- ・北陸電力株式会社
- ・三和薬品株式会社
- ・株式会社福井銀行
- ・福井ヤクルト販売株式会社



地域見守りのイメージ図



流動創生

流動創生事業では、平成27年度より都市部や遠方からの来訪者が南越前町の住民の方々と交流し、町外からの来訪者ならではの知恵や技術を活用することで、来訪者と町内住民が共に頼りあう関係を作ることを目指す滞在型企画「ストップオーバー」を開催しています。

2月のストップオーバーでは、今庄地区にて町外からの来訪者が、ネイティブアメリカン(インディアン)の移動式住居である「ティピー」でのたき火料理販売やタイ式マッサージ施術、出張カフェなどを出店するイベントを開催します！

古来より旅の要所として人と文化が混ざり合った南越前町ならではのイベントへ、ぜひお越しください。

日時：2月12日(日) 午前10時～午後3時 降雪・雨天決行

場所：株式会社みつづはうす工房 駐車場(南越前町今庄第115号1番地2)

参加申込：不要。直接会場へお越しください。

※駐車スペースはありますが台数が限られているため、可能な限り公共交通機関でのご来場、またはお乗り合わせでのご来場をお願いいたします。

■ 問合せ 観光まちづくり課 ☎ 47-8013

詳細および続報については、流動創生 HP および流動創生 Facebook ページをご覧ください。

<https://www.facebook.com/ryudousousei/>

流動創生

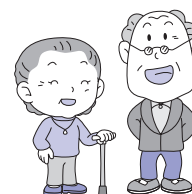
検索





地域包括支援センターです

■ 問合せ 地域包括支援センター ☎ 47-8009
 地域包括サブセンター(今庄) ☎ 45-1170
 地域包括サブセンター(河野) ☎ 48-2260



サロンについて語ろうかい(会)～顔がつながる、心が通う、お互いさまのまちづくり～

南越前町は、高齢化率 33%！なんと、3人に一人が高齢者！

町では、年をとっても安心して暮らしていける地域づくりを目指して、「集まるだけで介護予防!!」を合言葉に、地域ふれあいサロンについて、みんなで考えてみましょう。

日 時 3月2日(木) 午後2時30分～午後4時30分

場 所 南条保健福祉センター

内 容 ①お話し「南越前町は、今…!! 町の現状と今後」

講師：国立社会保障・人口問題研究所・社会保障基礎理論研究部 部長 川越 雅弘 氏

②私たちのサロン活動紹介

③グループワーク

■ 申込先 地域包括支援センター ☎ 47-8009



流動創生

今年度も多くの町外在住者の方が流動創生事業に参加し、南越前町に滞在しながら町民の方々と交流したり町内活動のお手伝いをしました。その数は流動創生事業がはじまってからの2年間で約100名を超え、多くの方が二度三度と来町しています。町外在住者の方々にとって南越前町が何度も行きたくなる、愛着をもてる町となっているようです。

【町外在住者が参加した今年度の主な町内活動】

- ・田植え
- ・畑作業
- ・ハス収穫作業
- ・上野の盆踊り参加
- ・街道浪漫今庄宿にて齋藤三郎家を活用し店舗出店
- ・「酒蔵ふえす」お手伝い
- ・つるし柿作り、酒造り
- ・今庄での冬の生業・杜氏体験開催

平成29年度も引き続き地域と人をつないでいきます。

活動詳細については流動創生HPおよび流動創生Facebookページをご覧ください。

流動創生 検索



<https://www.facebook.com/ryudousousei/>

■ 問合せ 観光まちづくり課 ☎ 47-8013

流動創生

【メディア掲載情報】

世界中の社会課題を解決するアイデアを紹介しているウェブマガジン「greenz」に本町の流動創生事業が掲載されました。

本記事は greenz の他記事と比べても大変多く読まれ、公開一週間(2/13~19)のアクセス数は 4000pv 以上を集め、ランキング第1位となり、町の取り組みが大変多くの方に知られ、共感を頂いたことがわかります。

投稿されている感想から、ごく一部となりますが抜粋してご紹介します。



SNSでの「いいね!」: 300 件以上 シェア数: 100 件以上

「地方創生ってどこも同じようなことやってる感があったけど、これは違うね!」

「すごくいい取り組み。人を取り合うことだけを考えてると、自分たちが疲れて地方は廃れるんじゃないかと思う。

積極的に交流人口を増やして、第2市民のような居住とは違う形で地域にかかわる人を増やせるといいと思う」

「本当に共感したし、地方と地方がつながりたがっている“若者”の気持ちをよく理解したうえで、大きな可能性も感じました。ほんとに応援しています」

記事本文については右記 URL よりご覧ください。 <http://greenz.jp/2017/02/14/ryudosousei/>

～ 2/11(土)～12(日) 町内滞在企画ストップオーバー 16 旅する暮らし方 開催報告 ～



本企画は町外に住む方が南越前町に滞在し、移動式住居を使った模擬店などを開いて町内の賑わいづくりのお手伝いをしてもらおうとするものです。イベント中は町外在住者7名が来町し、たき火料理やカフェ、タイ式もみほぐしなどを提供。町民も町外在住者も、大人も子供も楽しい時間を過ごされました。

今回、タイ式もみほぐしを提供した京都市在住の中居茜さんは、「京都から近い所にこのような縁ができた。今後は定期的に来てもみほぐしを提供したり、ご家族にもしてあげられるようなケア方法を伝えていけたら。」と話し、今後も南越前町に定期的に訪れるきっかけともなったようです。

活動詳細については流動創生 HP および流動創生 Facebook ページをご覧ください。

流動創生

検索

<https://www.facebook.com/ryudousousei>